

学習内容報告書 フォーマット

学校名	山形県鶴岡市立大山小学校
授業者	2年担任：渡邊 恵、荒木美佐子

1. 単元計画

1-1. 単元名

海の学習（加茂水族館見学Ⅱ）

1-2. 学年

第2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科、道徳、図工

1-4. 単元の概要

- ・学区内に「クラゲドリーム館（加茂水族館）」があるため、水族館との連携を図りながら単元づくりを行う。
  - ・1年生で実施している「加茂水族館の見学」を2年生では、若干バージョンアップし、クラゲ学習館で、クラゲの飼育について学習する時間を設定し、海の生き物の生態やそこに関わる人々の働きについても学ぶことができるようにした。
  - ・見学後は、実際に浜辺に出て、ビーチコーミングを位置づけ、海に触れる活動も取り入れた。
- 【カリキュラムマネジメント】
- ・生活科を中心として、道徳や図工との関連も図った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

加茂水族館を見学し、海の生き物に触れることを通して、海の不思議さや多様性について知り、海への興味や関心を高める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

◇知識・技能

- ・海にはたくさんの生き物がいることを知る。

◇思考力・判断力・表現力

- ・見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議に思ったことを自分なりの表現の仕方でまとめることができる。

◇学びに向かう人間性

- ・興味や関心を持ちながら、活動に取り組もうとする。
- ・見学を通して、海の生き物のおもしろさや不思議さを感じることができる。

1-7. 単元の展開（全8時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	生活科 ○活動オリエンテーション ・活動のめあての確認 ・活動内容を知る	◆ねらいを理解させる →単に見学に行くだけでなく、「発見」をしてくる ということがめあてであることを児童が理解し た上で見学に臨めるように指導
2 ～ 5	生活科 ○クラゲドリーム館（加茂水族館）見学 ・校外学習として実施 ・一般の来場者と同様に水槽やショーの見学 ・クラゲ学習室でのクラゲ飼育の学習	■クラゲドリーム館施設案内ボランティア →各水槽の生き物の説明をしてくださる方からの 支援をいただいた。
6 7	生活科・図工 ○見学のまとめ ・絵と文で、体験をまとめた。 ・自分が見つけたことがわかるようにワークシ ートを活用	◇見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議 に思ったことを自分なりに表現の仕方を工夫してま とめることができたか
8	生活科 ○体験発表 ・自分がまとめたシートを使って、発表	◇相手に伝わるように話すことができたか？

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 8 時間中の 2～5 時間目

### 2-2. 本時の目標

見学活動を通して、海にはたくさんの生き物が生きていることを知る。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 学校発→バス移動</p> <p>2 会場着</p> <p>3 見学活動開始</p> <p>4 学習室での水族館やクラゲ飼育の学習 ○クラゲを展示するまでの工程等について、実際に観察し、多くの不思議さ、おもしろさを発見し、実感していた。</p>	<p>教師は、活動の見守り、児童のつぶやきを拾い、興味や関心が高まるように関わる</p>
<p>5 見学終了</p> <p>6 水族館発→バス移動</p>	

### 3. 今回の活動の自己評価

#### 成果○課題▼

○クラゲドリーム館の見学は1・2年生と2年間実施している。

同じ施設を2年続けて見学することになるが、発達段階に応じて、活動内容を変えることで意義のあるものとなった。

#### 課題▼

▼活動内容に違いはあるものの、児童の深い学びにつなげるためには、(海洋教育として、3年生以上の学習につなげるための、海への興味関心の高まり、調べたい、知りたいという好奇心を持たせる等) ねらいの整理が必要。

### 4. 今後の課題

- ・本校の6年間の海の学習の中の活動として、系統性を明確にする。(活動のねらいと系統性の整理)

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・活動の実践としては、いわゆる校外学習的な活動ではあるが、前述のとおり、2年生の海の学習として位置付けた活動となるので、他学年の実践と合わせて見ていただくことが必要である。